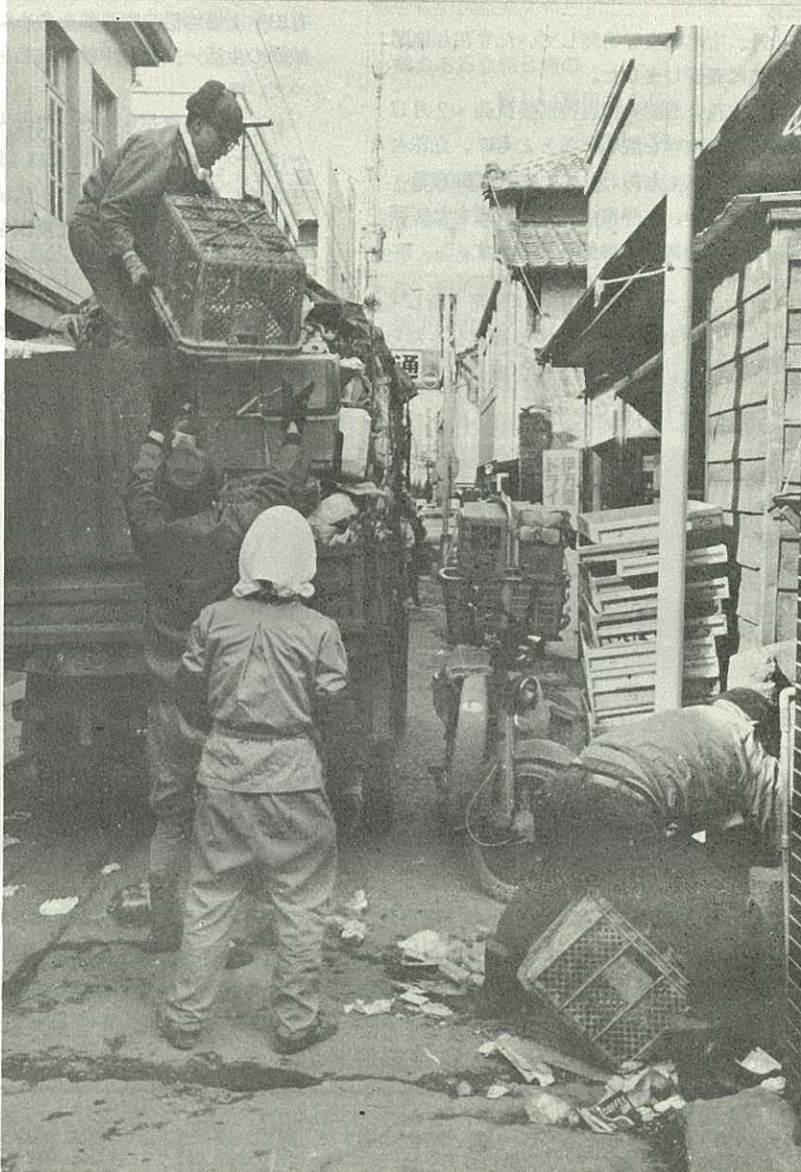


# 広報 いまり

市の人口	
2月1日現在	
総人口	60,882人
男	28,543人
女	32,339人
世帯数	14,864世帯

昭和29年8月19日  
第3種郵便物認可

○毎月1日発行 定価1部5円 昭和46年3月1日 伊万里市役所秘書企画課発行 No. 205



きれいな町づくりは、わたしたち市民の願いです。市は、広く市民の意見を聞きながら、いまの非効率で非衛生的なし尿やごみ処理のありかたを改めようと検討しています。

条例の改正案を今月の市議会定例会に提案することになっています。

(上の写真は、2月19日、寿通りで写したものです)

—きれいな町づくりも、たいへんな苦勞です  
みんなの手で、町を美しくしましょう—

## 広報こよみ

- 1日～5月31日 春の防犯運動
- 5日 南波多町公民館大会
- 7日 市連合婦人会総会
- 8日 定例市議会招集
- 11日 交通事故相談日
- 16日 中学校卒業式
- 19日 法律相談日
- 20日 小学校卒業式
- 21日 春分の日
- 25日 交通事故相談日
- 〃 電気記念日

☆つごうによって変更することがあります。

☆あなたの町や部落で明るい話題があつたら市役所秘書企画課広報統計係へお知らせください。

# 3月



### 立花台地

# 魅力ある伊万里の再開発地に

## 九州経済調査協会の基本構想まとまる

九州経済調査協会は、昨年10月、市が調査を委託していた立花台地開発の基本構想をまとめ、竹内市長に報告しました。

竹内市長は、2月12日の市議会立花台地開発調査特別委員会・2月17日の市議会全員協議会にその報告書の内容を説明するとともに、立花台地開発と関連する市庁舎建設問題についてもあわせて、こんご駐在員・区長会などに報告・説明して了解を求め、本年度中に基本計画をたて開発を進めたいと報告しました。報告書の概要をお知らせします。

どこにでもあるような町に

伊万里をしたくない

□-□-□

「伊万里」といえば、伝統のある落ち着いた町<窯業の町>を連想する。しかし、はじめて訪れたものはそこに意外な産業が中心にすわっていることにおどろく。

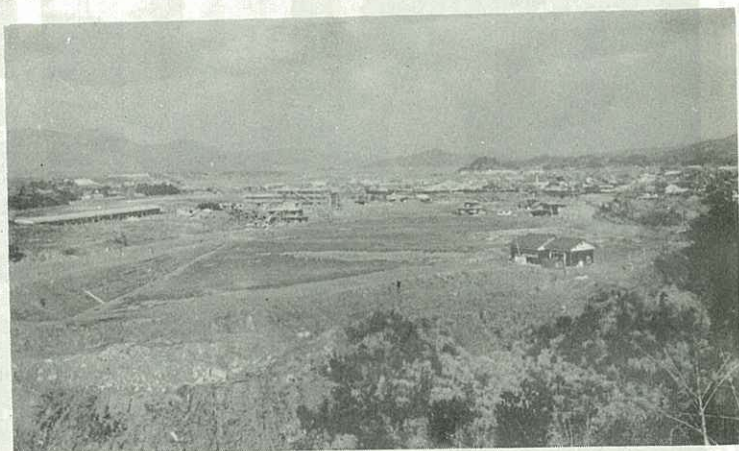
有田焼を含めた陶器の間屋街・周辺離島の本土基地としての海岸通りは、交通機関の発達につれて町づくりが停滞している。市街地は、道路もせまく、気安く立ち寄れないのが現状である。

伊万里は、そのことばのひびきとは全く異なった性格の都市へと変わりつつある。

立花台地は、44万平方メートルの広大な敷地であり、「新しい伊万里」の中核となるべき立地条件や環境をそなえている。

伊万里工業大学建設のさ折は、か

えって伊万里市の再開発・新しく生まれ変わろうとする機運をもたらした。この二度とない機会を有効に生かすべきであろう。



魅力ある将来のための

予備地として

□-□-□

伊万里市は、福岡・唐津とともに玄海国定公園の拠点であり、松浦・

有田・上場地帯の南西部を含めた広域圏の生活・文化の中核的性格をもっている。

しかし、自然があるだけでは人びとはやってこない。観光には都市(物的)施設が必要であり、広域圏の生活・文化センター的な役割を果たすには旧市街地の機能は十分とはいえない。

立花台地の開発は、旧市街地の再開発を可能にする。

新しい台地は、新しい伊万里の町

づくりの布石となるべきである。そのためには、無秩序な開発であってはならない。魅力ある将来の都市づくりのための予備地として考えるべきであろう。

ていいかわからない時間はさらに数十万時間になる。命が長くなることは結構なことである。ただ、寿命をのばすことばかりが研究されて、そののぼされた命をどう生きていくかということは検討されていない。最近、老人の悲劇が増している原因がここにある。寿命も大事であるが、それととも「生きがい」ということが大事である。これからは、みんなが自分の一生をかけて続けて行ける仕事が必要ならば、その残りの時間をもてあますことになりかねない。

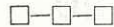
その意味で、最近の高校などのクラブ活動を見ると、その人の一生に生きがいを与える仕事になるものではないかと思われるものが多い。

伊高卒業生の中に、カブトガニ博士と新聞称号をたまった人もある。たとえその人がこんごカブトガニとは取り組めなくとも、その研究の態度は必ず別の面で生かされるにちがいない。残りの時間をどう生きるか、その人の人生が決まるともいえるから、残りの時間をたいせつにしたいものである。



10年・20年さきの

都市のすがたにたえうるもの

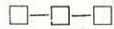


建設省が予測している将来の平均的な住宅水準は70~80平方メートルである。

住宅地区は、将来の都市のすがたを失わないように計画的に配置し、新しいモデル地域をつくるべきである。

すべての住民に

生きがいをあたえる場に



生きがいをあたえないと市民は定着しない。

人びとは、学びたいという希望を一生もちつづけるものである。

伊万里は、新しい構想のもとに、西南岸一帯に工業地帯を形成しつつある。

そこに働く人びとの夜間学園・職業教育など絶対に必要である。

託児所のついた母親の短期大学・老人の余生に生きがいをもたらす場など、あらゆる階層の人たちが解放的に自由に利用できる市民大学を設

けてはどうか。

市民大学は、あらゆる市民の欲求に応じた、花嫁学校・大学の受験講座・茶道・活花・謡曲・手芸・音楽工芸など講座をもつものである。

あそびながら・たのしみながら豊かな精神と隣人とのふれあいを深めることができよう。

魅力ある立花台地の

新しい都市づくりを



立花台地の都市区画は、行政地区文化地区・生活地区でなりたつが、地形と自然を生かし、景観をそなわれない機能的な都市でありたい。

新市庁舎と農協は市を象徴するような建物にして対岸の城山城跡と対照させる。また、新しいタイプの物産館(商工会議所・取引所・中小企業センターなど)をつくり、有田まで含めた企業や産業を紹介すると同時に、生産性の向上に役立てる。

さらに、佐賀県の海の玄関口として唐津とともに拠点となるべきである。

住宅地区には、旧市街地から脱出

できる商店・事務所や自宅で仕事のできる行政書司・文化人など新しいタイプの職場つき住宅地区を計画する・また、全域に建築協定を設けて生けがきで統一したり、瓦や壁の色を統制できるようにする。

道路網は、計画的に建設し、人と車の系統を分ける。

自然公園を設け、腰岳に通ずる道路をつくることも必要であろう。

どこにでもあるような、べつたりした造成ではなく、人工と自然を調和させるように、部分的にもきこまかく配慮してこそ魅力と個性が生まれる。

しかし、伊万里湾沿岸地帯全体との関連でみると、立花台地にすべてをになわせるわけにはいかない。

「古き伊万里」から「新しい伊万里」の都市像をつくりだすためには臨海部の新しい工業地帯の形成、農村部の再開発とのかね合いのもとで都市機能の中心的性格をもたせるべきであろう。

立花台地開発調査委員

内田一郎 九州大学教授

(土木工学)

田辺員人 九州芸術工科大学教授

(環境設計工学)

中村善一 九州産業大学教授

(環境設計工学)

田中保明 九州経済調査協会調査部長 (地域開発論)

岡 義見 九州経済調査協会研究員) マスタープラン主任者)

(敬称略)

サービス用電話のご利用を

電電公社は、「じょうずな電話のかけ方」全国キャンペーンを実施しています。

伊万里電報電話局は、利用者の皆さんに役立てようと、年間を通して「じょうずな電話のかけ方」の案内をすることにしました。

電話のかけ方や料金制度・エチケ

ットなどを吹き込んだテープ(約3分)が聞けるように特別に受け付け用電話を用意しています。内容も月に一度変えることにしています。

電話機の故障テストや電話の知識を得たいときなど気軽にご利用ください。番号は7171番です。料金はかかりません。

伊万里電報電話局

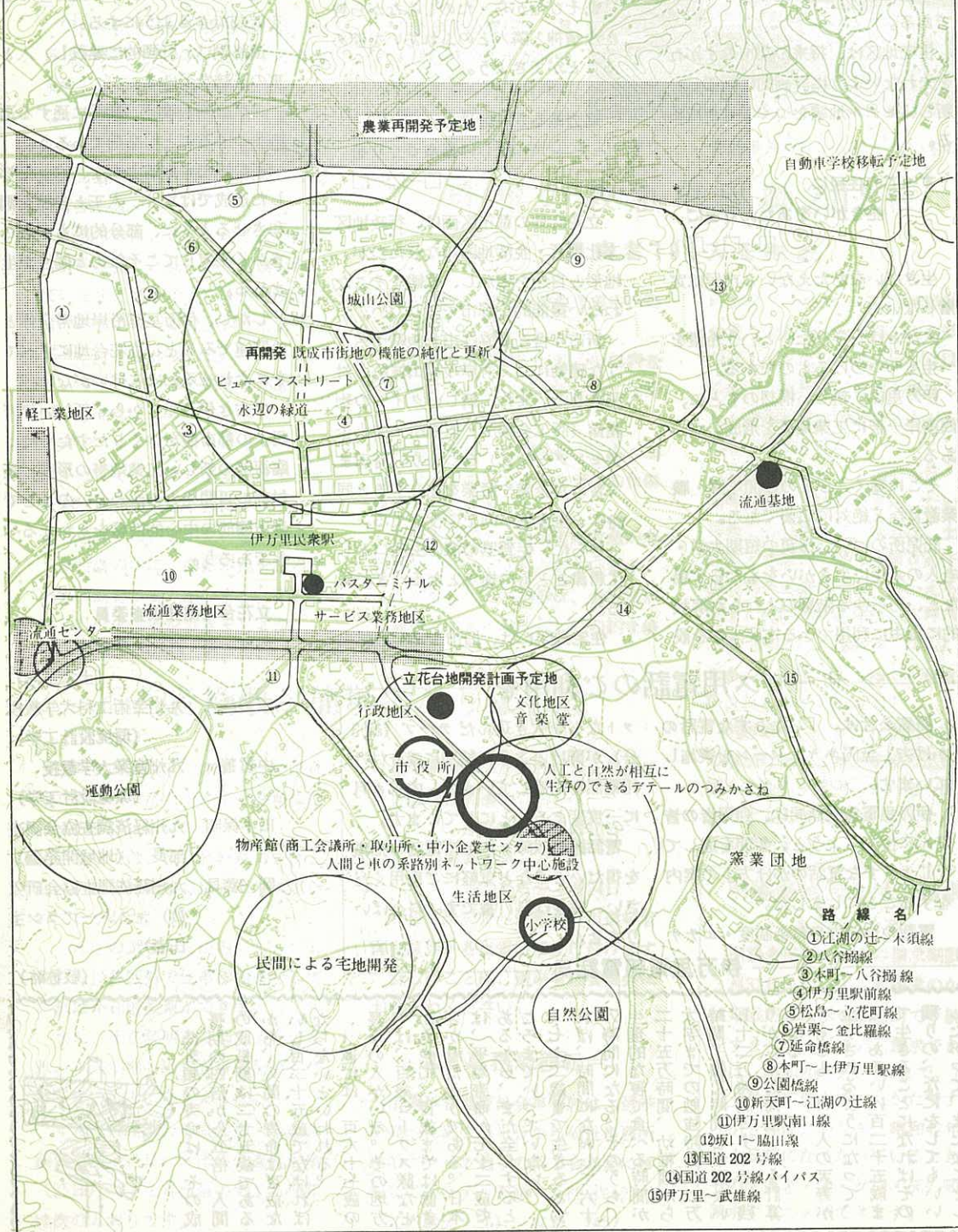
長命の四倍から五倍。人間の成長期は二十五歳であるから、人間の寿命は百歳ないし百二十五歳でなければならぬといわれる。ソ連には、百六十七歳の長命の人がいる。その地方では、百歳コーラス隊などがある。百歳までは働きざかりだそうである。日本は、平均寿命が七十二歳であるから、まだ全うするところまでいっていない。七十二歳まで生きるとすれば、時間になおして六十万時間になる。そのうち、生理的な寝て食べる時間が二十五万時間、幼稚園から大学までの勉強時間が二万時間、働く時間を十万ないし十二万時間とすると、残り二十万時間という計算になる。もしも、日本人の天寿が全うされるようになって、百歳あるいは百二十五歳まで生きることになればその残りの、なにをしてもいいしたがって、またなにをし

は、乳類の寿命は、その成長期の四倍から五倍。人間の成長期は二十五歳であるから、人間の寿命は百歳ないし百二十五歳でなければならぬといわれる。ソ連には、百六十七歳の長命の人がいる。その地方では、百歳コーラス隊などがある。百歳までは働きざかりだそうである。日本は、平均寿命が七十二歳であるから、まだ全うするところまでいっていない。七十二歳まで生きるとすれば、時間になおして六十万時間になる。そのうち、生理的な寝て食べる時間が二十五万時間、幼稚園から大学までの勉強時間が二万時間、働く時間を十万ないし十二万時間とすると、残り二十万時間という計算になる。もしも、日本人の天寿が全うされるようになって、百歳あるいは百二十五歳まで生きることになればその残りの、なにをしてもいいしたがって、またなにをし





# 立花台地開発構想図





# 改善計画に60%以上が賛成

## ごみ・し尿処理改善アンケートの結果

市が、町を清潔で住みよい町にしようと、1月上旬に実施した「ごみし尿処理改善アンケート」の結果がまとまりました。

市内の特別清掃地区から回答があった2,934世帯の調査結果の概要をお知らせします。

調査は、おもに、ごみ収集・し尿汲み取り料金の問題など6項目でした。

▽▽▽

ごみ収集は

88%が袋収集に賛成

▲▲▲

いま使われているごみ箱やポリバケツは、収集がしにくく、時間がかかり、取ったあとにごみが残るなど非衛生的であるうえに能率的でないなど問題があります。そのため先進都市が採用して能率をあげている、衛生的で収集作業がしやすい、袋収集（ポリ袋）に改善することで検討してきました。

アンケートの結果、1,993世帯（68%）が賛成と答え、改善を望んでいます。

▽▽▽

週1回の収集でもよい

▲▲▲

生活様式の変化に伴って、ごみの排出量は年ごとにふえています。

こんどの調査では、1,302世帯がいまの週1回収集でよいと答え、少ないからふやせ1,109世帯・わからないと答えたもの447世帯でした。

これは、袋収集に切りかえることで、収集時間が大幅に短縮され、自動的に収集回数が増えることなどか

ら、このような結果が現われたものと考えられます。

収集回数については、更に検討しなければならない問題です。

▽▽▽

62%が

ごみ処理をたのんでいる

▲▲▲

特別清掃地域のうちで、ごみ処理をたのんでいる世帯は、全体の62%を占めています。

たのんでいない世帯は、859世帯（29%）未回答は266世帯（9%）でした。

なお、昨年4月現在、ごみ収集世帯は、3,898世帯であったのが、1年間に571世帯ふえて4,469世帯になっています。

このように、ごみの収集を希望する世帯は、こんごますますふえることが予想されます。

▽▽▽

し尿は、46%が

定額制に賛成

▲▲▲

し尿の汲み取りは、現在、汲み取り量によって料金を徴収する「従量制」を採用していますが、急傾斜地

など道路事情によっては、バキューム車の計器が正確さを欠くことから「不当料金だ」という問題もありました。

市は、このような不平不満を解決するため、1世帯当たりの平等割とその世帯人数割を加えた「定額制」に改めることにしています。

調査結果では、定額制に賛成した世帯が、1,345世帯（46%）ありました。反対は485世帯（16%）、わからないと答えたもの1,104世帯（38%）となっています。

▽▽▽

65%が汲み取りを委託

▲▲▲

現在、し尿汲み取りをたのんでいる世帯は、回答があった2,608世帯のうち1,906世帯（65%）でした。

食生活の改善などで、市民が排出するし尿の量は、ふえることが予想されます。

し尿の汲み取りを定額制に改めることになれば、毎月のし尿汲み取り料金は定額となり、るすのときでも汲み取りができるなど、能率が上がり、市民の不満が解消されることとなります。

市は、この調査結果を参考にしてごみの収集方法やし尿汲み取り料金などをさらに検討して、3月の定例市議会に提案、市議会の承認があれば、早い時期に新しい方法で実施する計画です。

## 市内施設めぐり申込受付中

▷日時 3月24日 9時西肥バスセンター出発

▷募集人員 100人

▷申し込み方法 市役所秘書企画課か各町公民館へ料金を添えてお申し込みください。満員になりしだい締め切ります。

▷料金 400円（中食代を含む）

▷視察か所 西肥バスセンター→みかん選果場→伊万里窯業団地→立花台地→長浜団地→竹の古場公園→楠久ごみ焼却場→久原団地→河口湖模型実験場→福島橋→西肥バスセンター（解散・17時）

市の発展ぶりを確かめよう



九電西九州開閉所

# 6月から用地造成

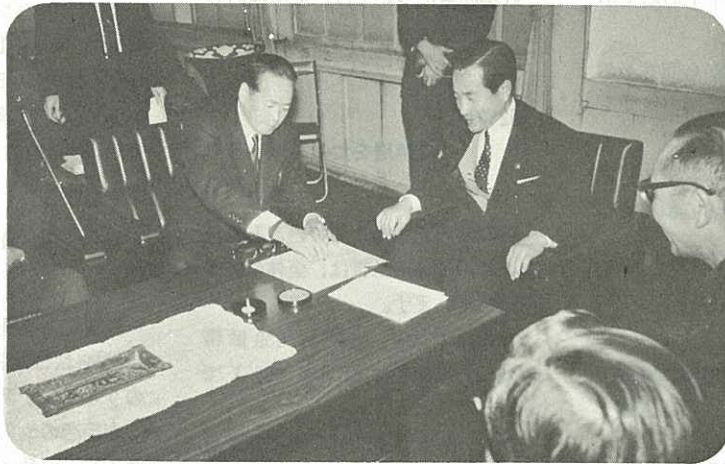
## 予備契約調印終わる

九州電力が、南波多町水留地区に建設する「西九州開閉所」の用地買収に伴う予備契約の調印が、1月30日、市役所で地元から前田交渉委員会会長（南波多農協長）、九州電力から古川管財部長が出席、竹内市長の立会いで行なわれました。

敷地は、南波多町の水留・重橋・谷口の3地区にまたがる国道202号線沿いの山林・原

野・水田・茶園などで、九州電力は昨年5月から関係地主約70人に対し

て用地の買収交渉をすすめていたものです。



▷竹内市長の立会いで調印する前田交渉委員会会長◁

買収面積は、水田・山林・原野・国道からの取り付け道路用地など約

14万3,000平方メートルです。

九州電力は、6月から第1期工事にとりかかり、48年1月までに約19億円をかけて用地造成や設備をおわり、運転をはじめます。

第2期工事は、昭和50年完成をめどにしており、工事費は、あわせて50億円を見込んでいます。

この開閉所が完成すると、唐津・新相の浦・大村の火力発電所や値賀崎に建設中の玄海原子力発電所などで発電する230万5,000キロワットの電力をこの開閉所に集め、北九州地区や福岡・熊本・佐賀・長崎・佐世保などの電力消費地で使用する電力をその需要に応

じて送電をコントロールすることになります。

### 消防団の名称を 変更しました

消防団の名称を1月1日から次のように改めました。いままでの呼び名は、市民になじめない・どこの分団かわかりにくいなど消防審議会で改正意見が出されたものです。

改正前	改正後
第1分団	伊万里分団
第2分団	牧島分団
第3分団	大坪分団
第4分団	大川内分団
第5分団	黒川分団
第6分団	波多津分団
第7分団	南波多分団
第8分団	大川分団
第9分団	松浦分団
第10分団	二里分団
第11分団	東山代分団
第12分団	山代分団

## 青年の船で東南アジアを訪問

### 松島町の川久保さん



▷川久保さん◁

松島町の、川久保都音子（とねこ）さん（22歳）は、「青年の船」の一員として

2月5日から3月27日まで51日間にわたってインド・インドネシア・マレーシア・シンガポール・フィリピンなど東南アジア地方を訪問しています。

佐賀県からはほかに男子3人（佐賀2人・千代田町1人）が選ばれました。全国から300人が参加しています。

川久保さんは、昨年春、佐賀大学教育学部を卒業、12月まで伊万里農林事務所に勤めていましたが、「青年の船」の一員に選ばれてから退職しました。

船内では、リーダー養成や英会話東南アジア地方の国々にを勉強、寄港地では、現地青年と交換して交流を深めることになっています。

#### 青年の船とは

青年を乗せて東南アジア地方を巡航、現地青少年との交流を深める目的の船で、国が明治100年記念事業の一つとして計画したものです。

団員は、満19歳～26歳未満の日本人で身体強健な中学卒業以上の英語能力のあるものなどから選ばれます。



# おいしいインスタントごはん

## 4校で学校給食用アルファ化米を試食

文部省が余剰米対策の一つとして試作した学校給食用アルファ化米（インスタントごはん）の試食会が1月28日から2月10日にかけて、大川内小・山代西小・波多津中・松浦中学校の4校（1,190人）で2回にわけて行なわれました。

アルファ化米は、白米をむして乾燥し、ポリエチレンの袋に入れたもので、煮えたぎった湯に15分ほど入れておくとときあがったごはんのようになるインスタントごはんです。

教育委員会が、試食した4校の児童・生徒たちからアンケートをとった結果、2回とも55パーセント以上がおいしいと答えました。ふつうと答えたものは37パーセント・まずいと答えたものはわずか7パーセントでいどです。

量についても、ちょうどよいと答えたもの58パーセント・多い19パーセント・少ない23パーセントとなっています。

また、全部たべたものが90パーセント・残したものは1回目に150人2回目133人ありましたが、そのほとんどは量が多いと答えています。

生徒たちの意見も、たきたてであたたかい点が好評をうけました。お茶がほしい・副食を多くして・ごはんのときは漬物がほしい・おはしで

たべたいなどの意見もあります。なかには、袋入りはきみが悪い・ごはんがやわらかいといった意見も出ています。

このように生徒たちには好評ですが、市内の小・中



▷アルファ化米を試食する大川内小の子どもたち◁

## 少年犯罪・年ごとに増加

### 非行少年の実態を発表

伊万里警察署は、昨年1年間の非行少年の実態を発表しました。

犯罪をおかしたものは148人で、44年に比べて14人ふえています。

犯罪の種類は、盗みが一番多く、101人で全体の68.2パーセントを占め、傷害29人・19.6パーセント・きょうかつや横領などが18人・12.2パーセントとなっています。

学令別では、中学・高校生の犯罪が多く、44年の2倍にふえており、反面、高校に通学していない少年や小学生の犯罪は減少しています。

なかでも、高校生は44年の15人から47人と3倍以上に急増しています。伊万里警察署管内でおきた犯罪、589件のうちでも少年犯罪が30.2パーセントに当たる178件発生しています。

非行にはしった原因をみると、共稼ぎや両親のいない家庭・片親の子どもが61人・41.2パーセント・友だちにきそわれたもの38人・25.6パーセント・好奇心から31人・21パーセントとなっています。そのほか親の

学校の全生徒分をまかなうには、施設の増設や運搬車・給食婦などをふやす必要があります。また、給食パンに比べて栄養価が低いこと・価格が2倍ていど高いなど問題を残しています。

素行が悪かったり・映画や出版物の影響を受けたものが18人おります。

子どもたちの家庭の経済状態は、中流家庭の子どもが全体の61.5パーセントを占め、上流家庭は9.4パーセント・貧困家庭の子どもは4.8パーセントです。

家出をしたものも26人ありました。女子20人・男子6人です。16歳～20歳未満までの子どもが一番多い結果が出ています。

そのほか、少年補導員から補導を受けた少年は1,079人にのぼり、44年の400人に比べて3倍ちかくふえています。

最近、共稼ぎや出稼ぎなどがふえて子どもたちは放任され、さみしさや悪友のさそいによって非行にはしているようです。

子どもたちは、物質的な満足感よりも、親の愛情にうえています。できるだけ子どもたちとの時間をつくって、よい話し相手になるなどこまかい心くばりがたいせつではないでしょうか。

### モシモシ短信

話し中のときは3分待つて

「ブーブーブー」という短かい断続音がしたときは、相手が話し中です。こんなとき、すぐかけなおしてもつながらずはわずか。

3分ほど待つてからダイヤルするとほとんどつながります。



# 道路は正しく歩こう

## 交通安全指導員がパレード

伊万里市交通安全指導委員会の会員18人が、2月5日、激増する交通事故を防ぐため、運転者に注意をうながそうと、自動車6台で2班にわかれて市内をパレード・飲酒運転や無免許運転の防止を広く市民に呼びかけました。

交通事故は、ことしの1月中だけで57件発生し、86人が重軽傷をおっています。なかでも、4日の積雪によっておこった事故が14件もあり、16人がけがをしました。

スリップ事故の恐ろしさが改めてわかります。

スノー・タイヤやタイヤ・チェーンをつけているからと安心はできません。車間距離は十分にとつて、低速で運転することがたいせつです。

歩行者の中に、横断歩道を渡らず斜め横断をする人がいます。必ず決められたところを歩きましょう。

交通事故の責任は、運転者側にその大半が科せられますが、歩行者側にも責任はあります。それぞれの立場で交通ルールをよく守り

交通事故のない町にしたいものです



## 去年の救急車出動205件

### 傷病者195人を輸送

消防署は、45年中の救急車の出動状況をまとめました。

出動件数は205件で195人の傷病者を輸送しました。44年に比べて16件27人ふえています。

事故別では、交通事故107人・急病人35人・やけどや農作業中の負傷者25人などです。

交通事故による負傷者の救急が全体の52パーセントを占めています。

けがをした人の職業は、会社員が一番多く67人で44年(22人)の約3倍

にふえています。次いで無職30人・幼児や学生29人・農業21人の順です。44年1位を占めた農業(29人)は21人に減少、会社員の事故が激増しました。自家用車で通勤する人がふえたためと思われる。

月別にみると、7月の26件・4月21件が多く、ほかの月は、だいたい平均した出動です。曜日は、土曜日37件・日曜日32件・月曜日28件・火曜日33件で魔の土曜日といえるようです。町別出動状況は、大坪(40人)二里(30人)・南波多(18人)が最も多く、国道202号線での事故が多かったものと思われる。

消防署は、こうした交通事故などの増加に伴い、救急業務の迅速化を図るため本年度中に3人を一度に収容できる大型救急車を導入することにしています。

## 不在者投票が簡単になりました

選挙当日、用事や仕事のため不在者投票をするかたの投票が簡単になりました。

いままでは、不在者投票の要件として、仕事や用事さきが市外に限られていました。

こんどの選挙から市内であっても自分の投票区外で仕事や用事をしていれば不在者投票ができます。

また、不在証明書の制度も廃止され、本人が申し出て宣誓書を書くだけでよいことになりました。

4月に行なわれる県知事・県議会議員選挙(11日)、市議会議員選挙(25日)の下在者投票のできる期間は次のとおりです。

▷県知事選挙 3月17日～4月10日

▷県議会議員選挙

3月30日～4月10日

▷市議会議員選挙

4月15日～4月24日

毎日8時30分～17時まで市選挙管理委員会か各出張所で受け付けます  
詳しいことは、選挙管理委員会におたずねください。

### ＝選管事務局移転＝

市選挙管理委員会事務局は、選挙準備のため3月1日から福祉事務所前のプレハブ造りの第2会議室に移転しています。電話 公社(代)2111 (内線55・56) 有放 2452

### 引揚者特別交付金請求

3月31日まで

引揚者特別交付金の請求期限は3月31日までです。未請求のかたは期限内に市福祉事務所で手続きをすませてください。請求できるのは、昭和20年8月15日まで、1年以上外地に住んでいたかたです。

引き揚げたかたが、昭和42年8月1日前になくなっているときはその配偶者・子・父母・孫の順で請求することができます。



## 知恵おくれの子にしあわせを

特殊教育研究発表大会ひらく

◆知恵おくれの子らの幸福を求めて  
第3回特殊教育研究発表大会  
(伊万里市・西松浦郡特殊教育研究会、手をつなぐ親の会主催)が、2月12日、特殊学級の指導に当たる先生や知恵おくれの子をもつ父兄など約130人の参加をえて中央公民館で開催されました。

当日は、体験発表・啓もう活動と就学・就職問題など、それぞれの立場で研究討議しました。

なかでも「入級したわが子のあゆみ」と題し、知恵おくれの子をもつた母親が、特殊教育の中で、子どもとともに光を求めて生きる姿を浮き彫りにした一教師の愛と指導の記録

や病弱なわが子の成長に心をいためながらもあたたかくみつめ、特殊学級の中ですなおに育つ姿に喜びと希望をもち、同じ悩みをもつ親たちに手をとるあい・ともに励ましあつて行こうと話しかける父親の体験発表などがあり、あらためて特殊教育のむずかしさを認識しあいました。

また、ある知恵のおくれた一少女が、悲しみの中に怒りをこめ、涙にぬれたクシャクシャの作文の中に、「きょうの5～6時間目の運動会練習のとき、1～2年生ぐらいの男子たちが、わたしを見て、「あれでも人間やー」といって笑いました。わたしは、くやしくて、くやしくて自

殺しようと思ったこともあります。

わたしよりも、もつと、からだの不自由な人がたくさんいることも知っています。でも、こらえられません。学校から帰る途中にも、小学生から「ふにやふにや人げん」といわれました。なぜこんなことをいわれなければならないかと、と思いました」とつづっています。

わたしたちは、この子どもたちにどれだけの理解と思いやりがあるでしょうか。

ただたんに、教育者やこれらの子をもつ親にすべてをまかせず、社会が一つになって、あたたかい支援の手をさしのべてやりたいものです。

会場には、力強く・正しくのびようとする伊万里市・西松浦郡内26校(33学級・260人)の特殊学級児童生徒の作品も展示され、出席者も力作に見入っていました。

市内小・中学校の特殊学級には現在211人(男124人・女87人)の知恵おくれの子が一生懸命勉強しています。文部省は、この不幸な子どもたちの教育をより充実させるために、45年から2か年間、全国で8か所を「特殊教育推進地区」に指定しました。九州では伊万里市と佐世保市が指定を受けています。

市民の皆さんが特殊教育の必要性を認識していただくために、今月号から特殊教育のいろいろな問題を掲載します。

次の「卒業生からの便り」は、昨年春、市内の某中学校の特殊学級を卒業、社会人としてつづきに自立している少年の便りです。

T先生お手紙ありがとうございました。はやくだそうと思つたのですが仕事がいそがしかったので、だすひまがなかつたのです。

ぼくが、まいばんないているとかいてありましたが、ないてはません。ただうちにかえりたいのです。

手紙はうちにだして、Sさんにだして、Hさんにだしました。

### 特殊教育



まい朝、りようのそうじはしています。さんぎようは、3時間やつています。ときどきです。仕事は組み立てをやつています。いま仕事がいはんおもしろいです。日曜日は、かいほりに山口県までいきました。そして町にいつて遊んだり、スケートをしたりしています。

こちらのようすは、スモツグがおおいです。雨もおおいです。りようの人は、みんなやさしい人ばかりです。K先生によろしく。お手紙まつています。きょうなら

北九州市Y区 S工業所 MU

T先生の許しをうけ、この手紙を

掲載しました。

T先生は、市内某中学校の特殊学級担任として、長年この道に情熱をかたむけているかたです。

この学級は、精神薄弱(知恵おくれ)の比較的軽い子どもを入級させて、一人ひとりの能力をできるだけ伸ばしてやり、人格を育て、将来職業人・社会人として自立できるように専門の教師が指導するところです

M君について、T先生は、「中学1年生に入級したときは、漢字は自分の名まえだけ、算数は25-17=がでぎず、掛算の九九は5の段までしか知らなかつたのにこんなりつばな手紙を書けるようになった。職場の人たちからもかわいがられ、仕事にもなれたようだ。それに、なによりもこの手紙にあふれている心のやさしさ・まじめさがうれしい」と語っています。M君のご両親のご安心はもちろんわたしたちもM君のこんごの健康としあわせを祈るとともに、職場のかたたちのあたたかいご指導と思いやりに心から感謝しています  
市教育委員会指導主事 副島広治



百日せき 予防接種  
ジフテリア

- ▷対象者 昭和44年1月1日から昭和44年6月30日までの出生児
- ▷料金 無料
- ▷日時と場所
- 3月10日 黒川出張所(立目校区を除く)
- 〃 波多津出張所
  - 11日 南波多公民館
  - 〃 二里出張所
  - 12日 松浦公民館
  - 〃 大川出張所
  - 18日 東山代出張所
  - 〃 山代出張所
  - 19日 柳井町公民館(大川内・大坪町全域)
  - 22日 婦人会館(伊万里・瀬戸町全域)

※時間 13時30分～14時30分

・配布した問診票は記入のうえ会場に持参すること。

妊婦検診と相談

- 3月9日 9時30分～12時 波多津町小島医院
- 〃 13時～15時 東山代町内山医院
- 16日 13時～14時30分 南波多町小島医院
- 大川出張所(相談)

乳児検診

- ▷対象者 昭和45年3月1日から昭和46年2月28日までの出生児
- ▷日時と場所
- 3月11日 南波多出張所
- 12日 黒川出張所
- 17日 大川出張所
- 18日 松浦出張所
- 19日 東山代出張所
- 23日 山代出張所
- ※時間 13時～14時30分

市営住宅入居者募集

市営住宅の入居者を募集しています。希望者は市役所市民課か出張所窓口でお申し込みください。

▷場所 立花台地

▷募集戸数 8戸(3月20日完成)

▷構造 第2種簡易耐火構造2階建 6畳・3畳・炊事場つき3畳板間 風呂・便所つき

▷家賃 1か月3,800円

▷敷金 家賃の3か月分

▷申し込み期限 3月15日まで

▷入居資格 伊万里市内に居住または勤務しているかた。

次のかたからご寄付をいただきます。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

▷香典返しを寄付

〇五千元 池田巖(大川町)

- 里川 亡母シズ
- 〇壹万円 岩橋ユク(山代町浦の崎 亡父平治)
  - 〇五万円 田森陶苑田中輝男(大川内町市山 亡父森市)
  - 〇壹万円 松尾勇吉(大坪町永山 亡父祐助)
  - 〇参千円 水尾常義(波多津町浦 亡養父助造)
  - 〇壹万円 平山千年(大川町駒鳴 亡父徳太郎)
  - 〇五千元 鳥羽柳助(南波多町府招 亡母ワシ)
  - 〇参万円 松尾清(伊万里町幸善町 亡母シズ)
  - 〇壹万円 多久島礼一(二里町川東 亡母マサ)
  - 〇五千元 山口照紀(松浦町桃川 亡父福一)
  - 〇五千元 山下正子(山代町久原 亡夫初一)
  - 〇参千円 池上初次(伊万里町桐町 亡母イン)
  - 〇五千元 原口和之(伊万里町上土井町 亡祖母スエ)
  - 〇壹万円 吉武正三(山代町福川内 亡父留一)
  - 〇参千円 山口キヲ(松浦町下分 亡母チサ)
  - 〇式万円 吉牟田正己(木須町木須西 亡父源助)
  - 〇参千円 前田明光(山代町浦の崎 亡兄清)
  - 〇式万円 川原マツ(東山代町日尾 亡夫武雄)
  - 〇参千円 伊藤フキ(東山代町天神 亡夫虎男)
  - 〇壹万円 池田善次(伊万里町上土井町 亡妻キヨ)
  - 〇壹万円 石部吉明(瀬戸町中通 亡母サメ)
  - 〇五千元 栗原定和(波多津町辻 亡母トラ)
  - 〇五千元 坂本安雄(波多津町畑津 亡母ヤス)
  - 〇壹万円 平野秀男(黒川町大黒川 亡父秀作)
  - 〇参万円 篤志寄付
  - 〇五千元 ザ・フアイヤマズ代表豊増八次(伊万里市消防署内 演奏礼金の一部)
  - 〇五百円 匿名(伊万里警察署経由)
  - (累計二四七五九九〇円)
- 市庁舎建設基金へ
- ▷香典返しを寄付
  - 〇壹万円 川口正雄(黒川町清水 亡父梅太郎)
  - (累計一四五万二〇〇〇円)
  - 市民会館建設金へ
  - ▷篤志寄付
  - 〇式万円 川原鶴次(松島町)
  - ▷香典返しを寄付
  - 〇式万円 岩橋幸一(脇田町 亡父小三郎)
  - (累計一四万七九七五円)
  - 山代公民館建設基金へ
  - 〇壹万円 山代町下場老人クラブ
  - 伊万里市交通安全協会牧島支部へ
  - ▷電光掲示板(ヒタコン) 壱台 山口竜之介(瀬戸町山口電機商会)
  - 親のない子へ
  - 〇百八拾円 高木信義(大川町立川欽業所)
  - 伊万里図書館へ
  - ▷幕末の伊万里商人陶磁器等選上銀関係資料 十点
  - 前田長蔵(伊万里町今町)
  - 〇種ヶ島銃 一丁 中島愿(松浦町中野原)
  - 〇明治四十一年～昭和九年までの米穀定価表 三百六十九枚 水町順信(伊万里町今町)
  - 水町幸三(立花町西円造寺)
  - ▷著書「いのちの書」一冊 成ヶ沢宏之進(東京都国分寺恋ヶ窪八八)
  - (昭和46・2・20現在)

